

令和4年度 渋谷区 区民意識調査 報告書（概要版）

渋谷区

目次

I. 調査の概要	2
II. 回答者の属性	3
III. 調査結果	6
1. 定住性について	6
2. 区政について	8
3. 渋谷区基本構想について	11
4. 施策・活動の認知・利用経験について	13
5. シビックプライド・街のイメージについて	16
6. 暮らしについて	18

I. 調査の概要

(1) 調査の名称

区民意識調査

(2) 調査の目的

区民の区政に対する意識等を把握し、今後の区政課題に反映させることを目的とする。

(3) 調査対象

渋谷区在住の18歳以上の人

(4) 調査期間

令和4年 11月 17日～令和4年 12月 16日

(5) 調査方法及び回答件数

以下媒体にてアンケートURLを告知し、インターネット上にて回答

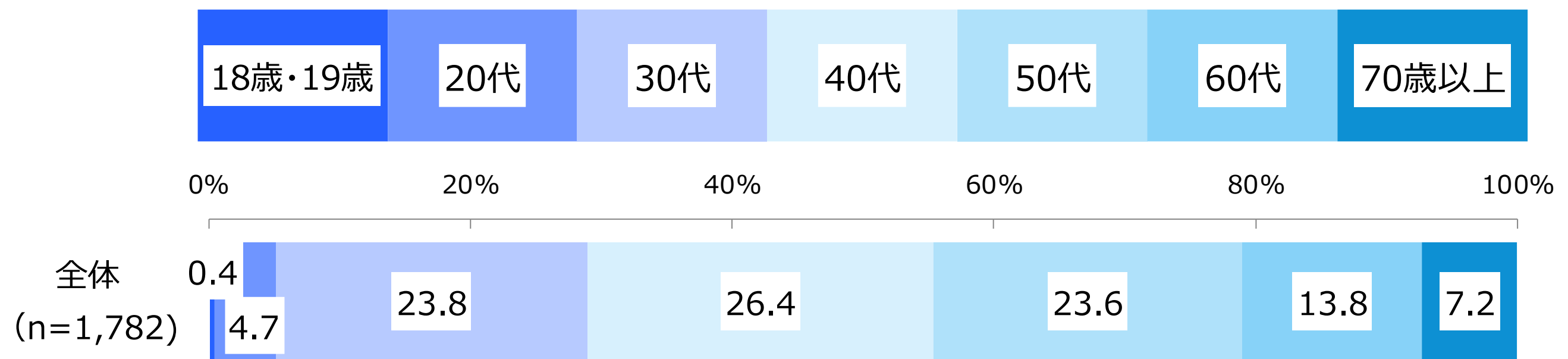
告知媒体	有効回答件数
しぶや区ニュース	1,782件（令和3年度4,226件）
渋谷区公式ホームページ	
渋谷区公式ツイッター	
渋谷区公式フェイスブック	
渋谷区公式LINE	

(6) 報告書における表及び図表の見方

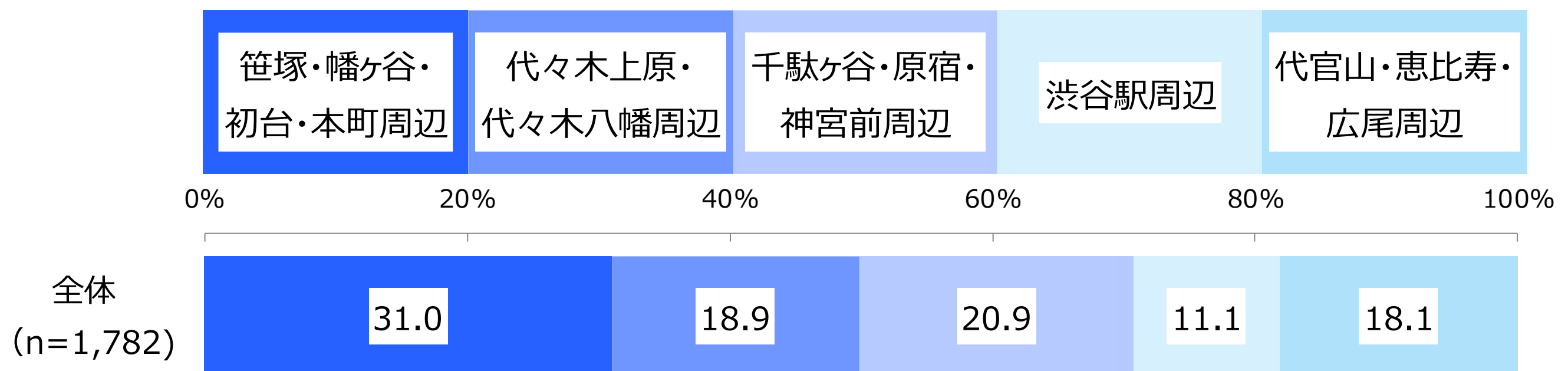
- ・図表内の「n」は、設問に対する回答すべき人数（基数）である。回答数が30未満のものは誤差が大きくなるため、参考値とする。
- ・集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。同様に、複数の比率の合計も図表の数字が一致しない場合がある。
- ・複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

II. 回答者の属性

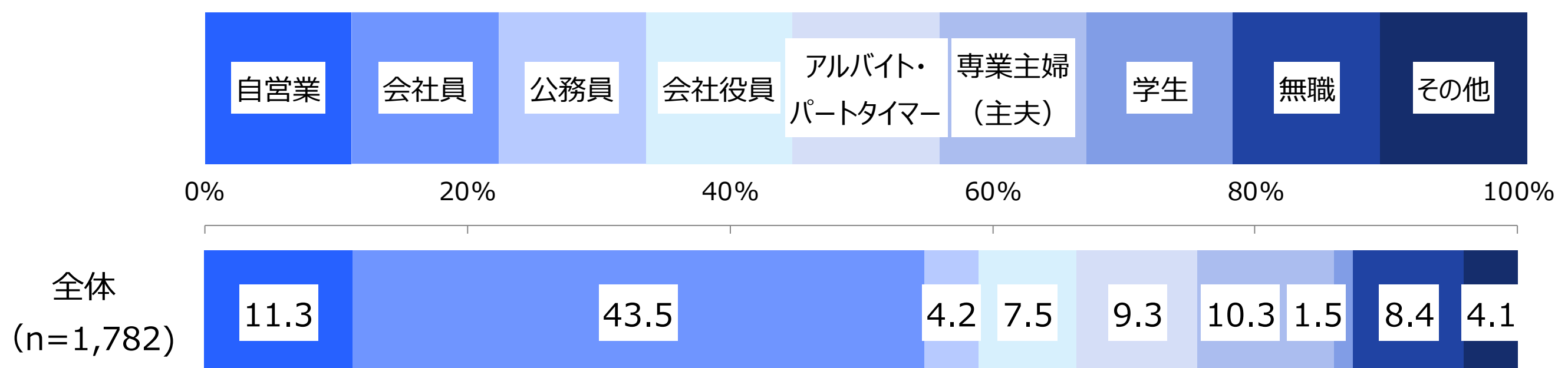
(1) 年齢



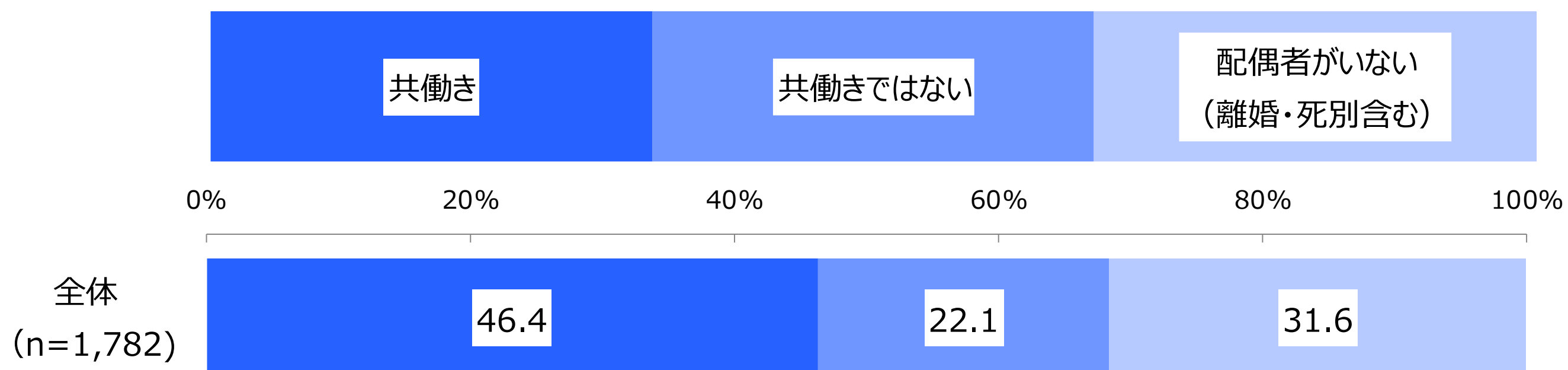
(2) 地区



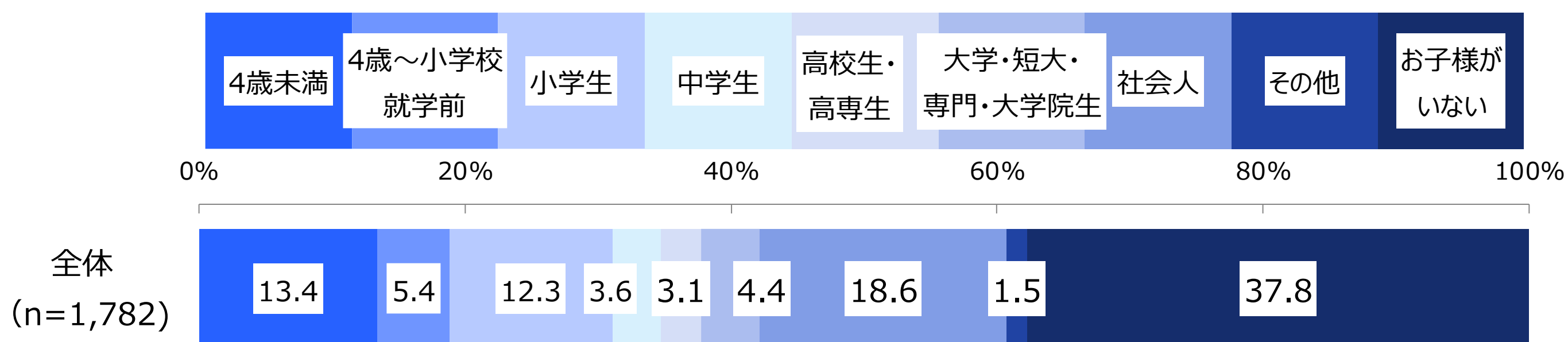
(3) 職業



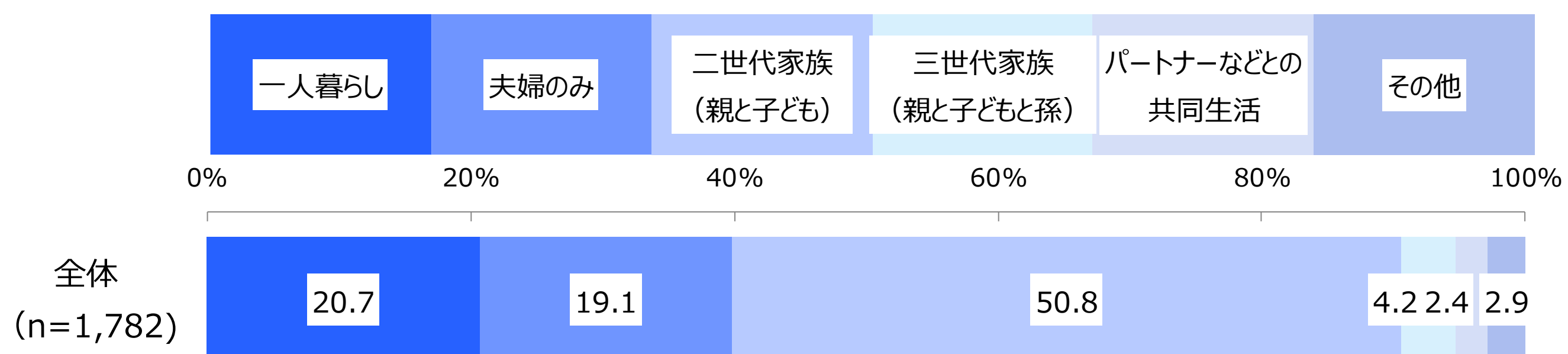
(4) 配偶者/共働きの有無



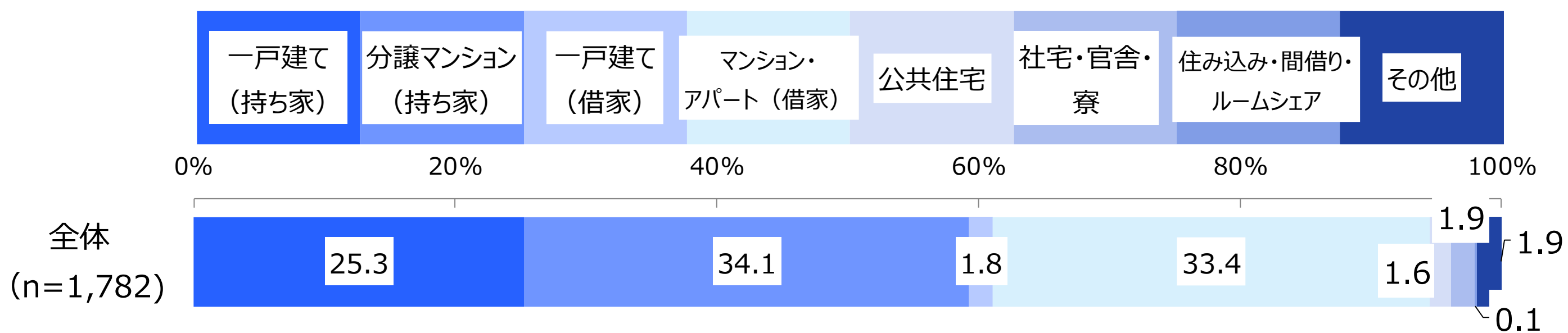
(5) 長子の学齢



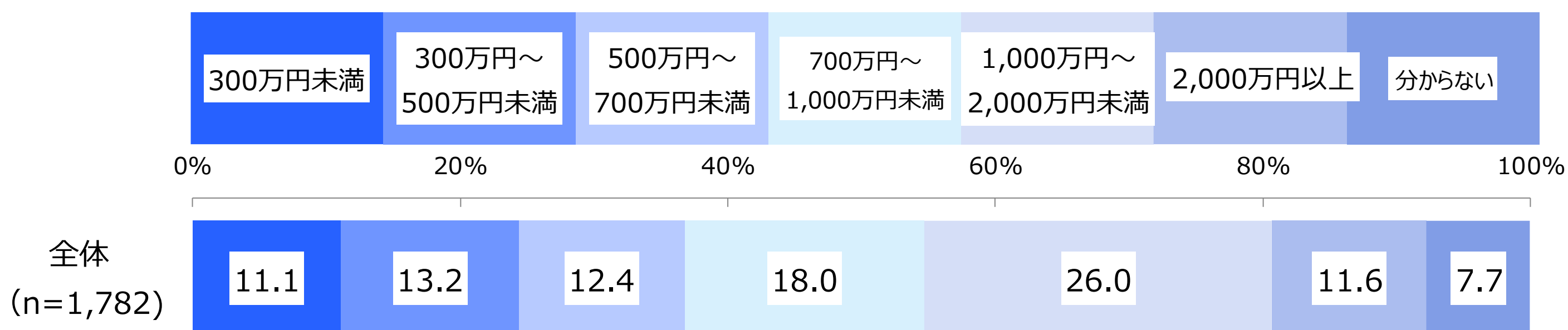
(6) 世帯構成



(7) 住居形態

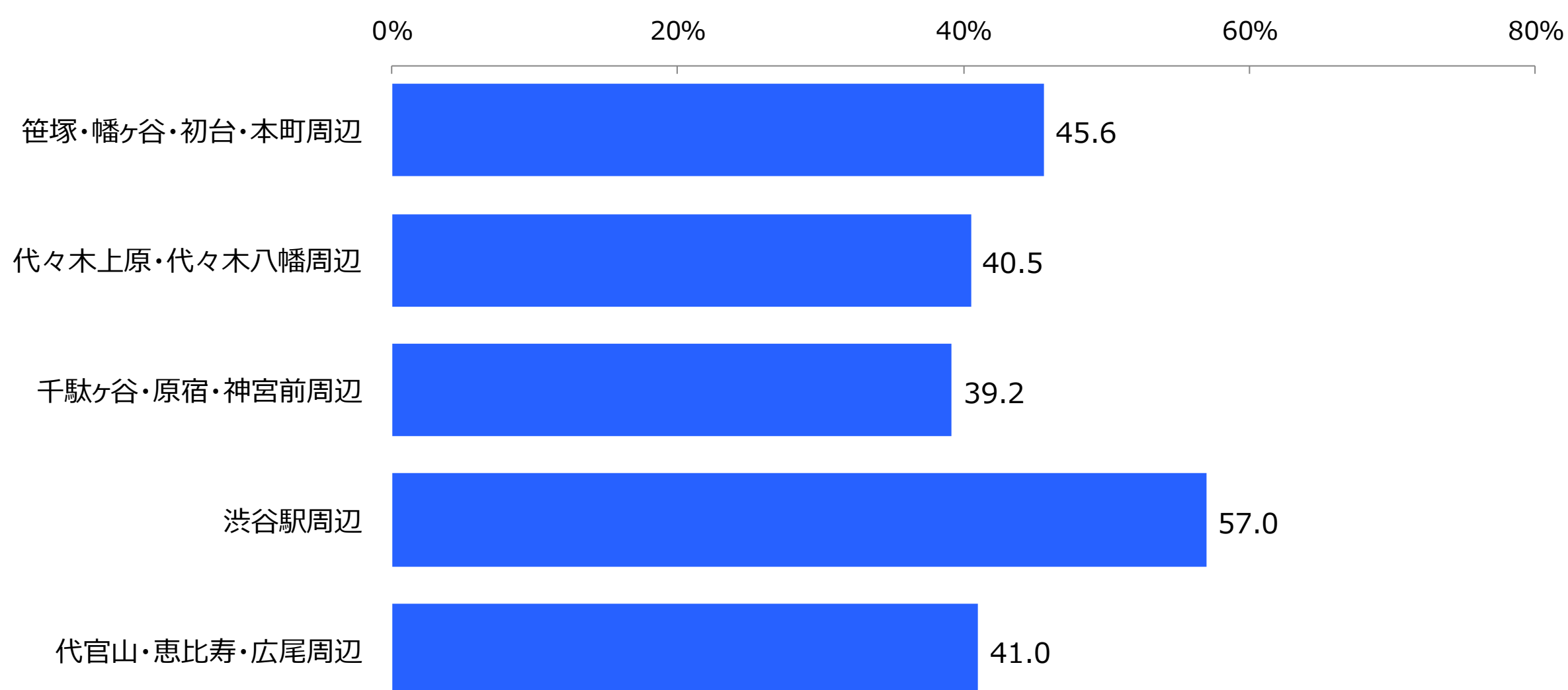


(8) 世帯年収



(9) 日常生活でよく行く地区

n=1,306
(任意回答)



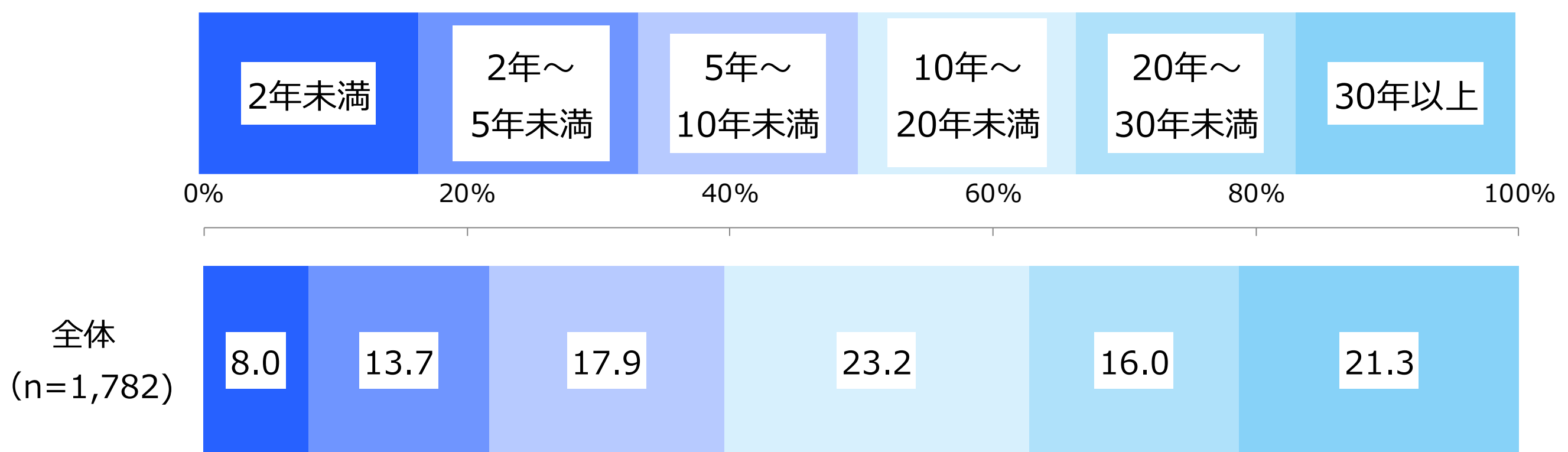
III. 調査結果

1. 定住性について

(1) 居住年数

Q1.あなたは、渋谷区に住んで何年になりますか。(答は1つ)
※直近の居住年数についてお答えください。過去の居住については含みません。

「10年～20年未満」が23.2%（令和3年度22.4%）で最も高く、次いで「30年以上」21.3%（令和3年度20.0%）が続く。

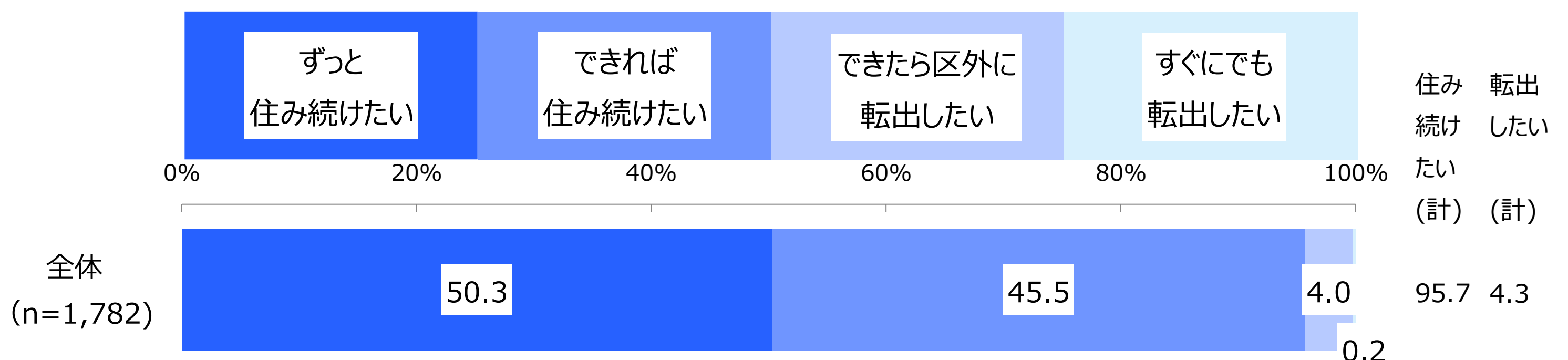


(2) 今後の定住意向

Q3.これからも渋谷区に住み続けたいと思いますか。(答は1つ)

「ずっと住み続けたい」が50.3%（令和3年度48.7%）で最も高く、次いで「できれば住み続けたい」45.5%（令和3年度46.5%）。

転出したいとした者は、5%未満（令和3年度4.8%）に留まる。



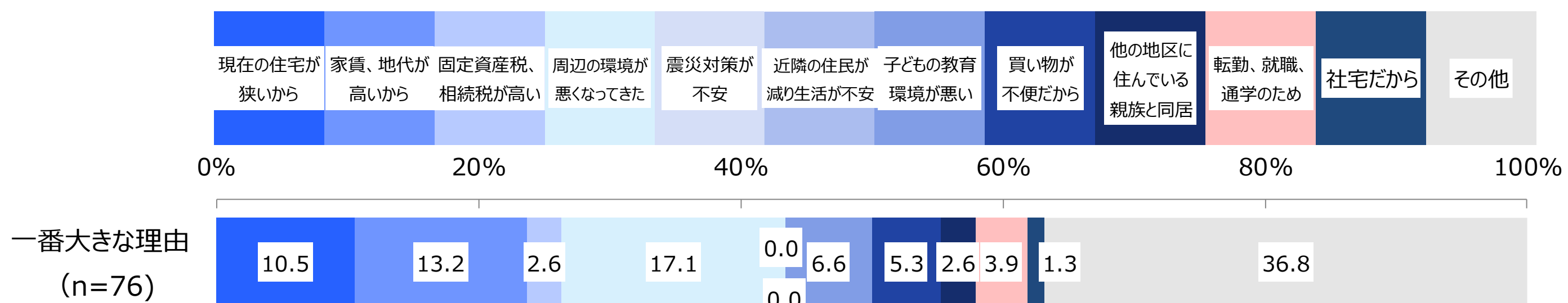
(3) 転出意向理由

Q4.あなたが区外に転出したい理由は何ですか。一番大きな理由、次に大きな理由、三番目に大きな理由を、それぞれ教えてください。（答はそれぞれ1つ）

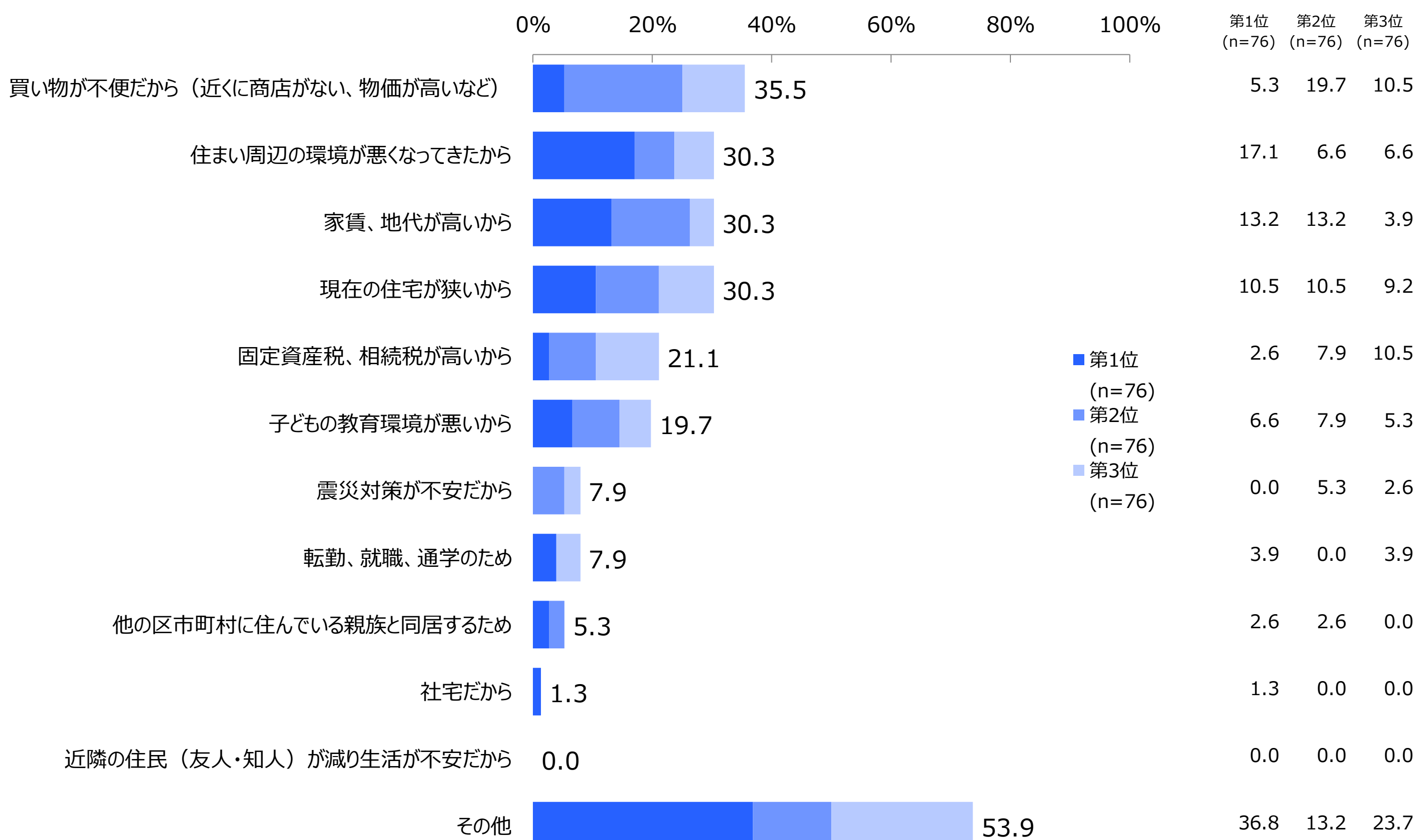
※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

一番大きな理由は、「周辺の環境が悪くなってきた」が17.1%（令和3年度17.3%）で最も高く、次いで「家賃、地代が高いから」13.2%（令和3年度20.3%）、「現在の住宅が狭いから」10.5%（令和3年度11.4%）と続く。

一番大きな理由から三番目に大きな理由までを合わせると、「買い物が不便だから」が35.5%（令和3年度34.7%）で最も高く、以下、「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」30.3%（令和3年度32.7%）、「家賃、地代が高いから」30.3%（令和3年度46.0%）、「現在の住宅が狭いから」30.3%（令和3年度35.1%）などが続く。



[ベース:転出意向者]

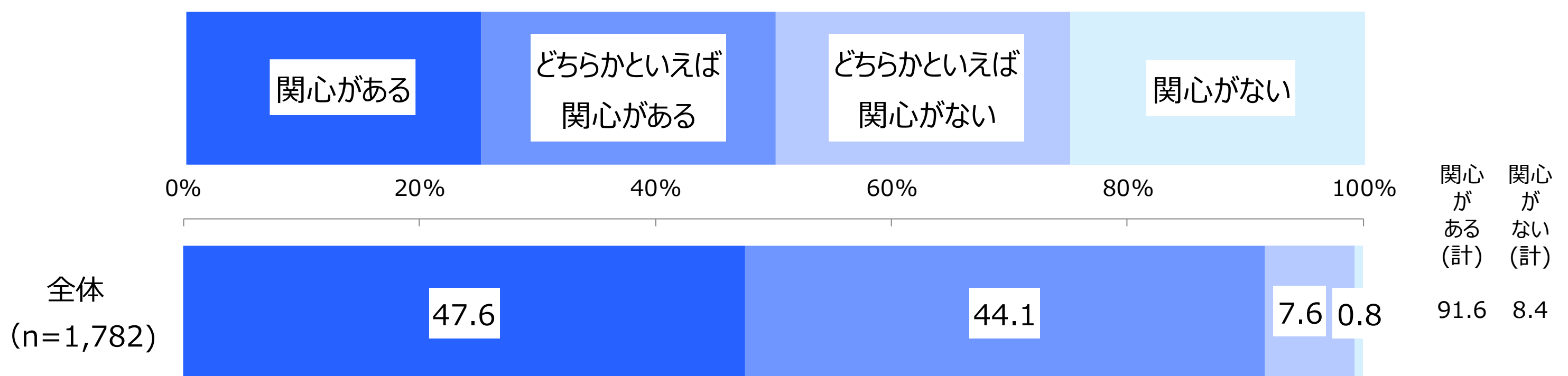


2. 区政について

(1) 区政への関心度

Q5.あなたは、渋谷区政に関心がありますか。(答は1つ)

「関心がある」が47.6%（令和3年度50.0%）で最も高く、「関心がある（計）」（「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」）は91.6%（令和3年度91.6%）、「関心がない（計）」（「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」）は8.4%（令和3年度8.4%）である。

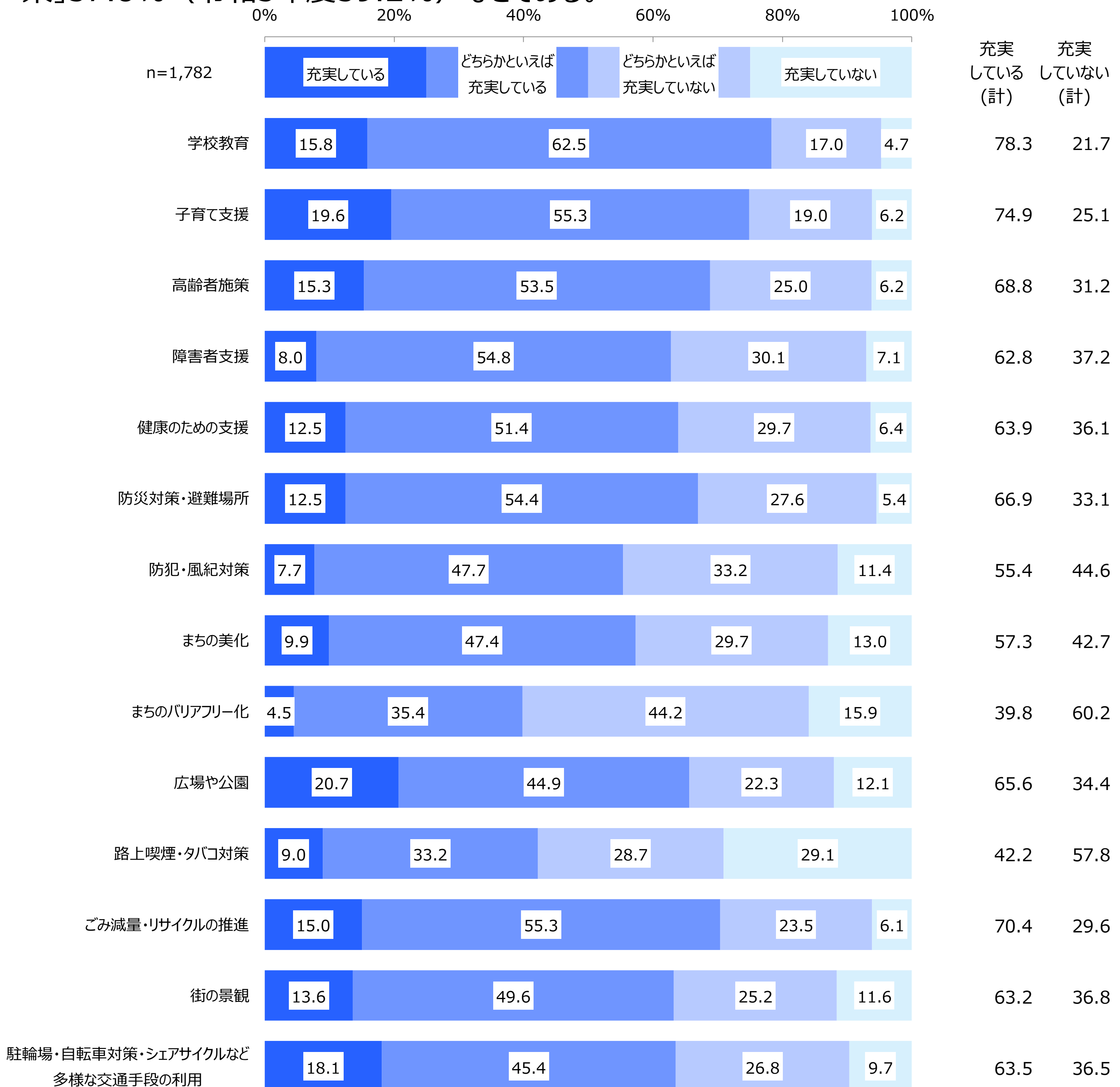


(2) 区の施策の充実度

Q6.あなたは、渋谷区の以下の施策について充実していると思いますか。(答はそれぞれ1つ)

「充実している(計)」(「充実している」+「どちらかといえば充実している」)が高い施策は「学校教育」78.3%(令和3年度77.5%)、「子育て支援」74.9%(令和3年度73.9%)、「ごみ減量・リサイクルの推進」70.4%(令和3年度58.4%)、「高齢者施策」68.8%(令和3年度67.6%)、「防災対策・避難場所」66.9%(令和3年度68.6%)、「広場や公園」65.6%(令和3年度66.4%)などである。

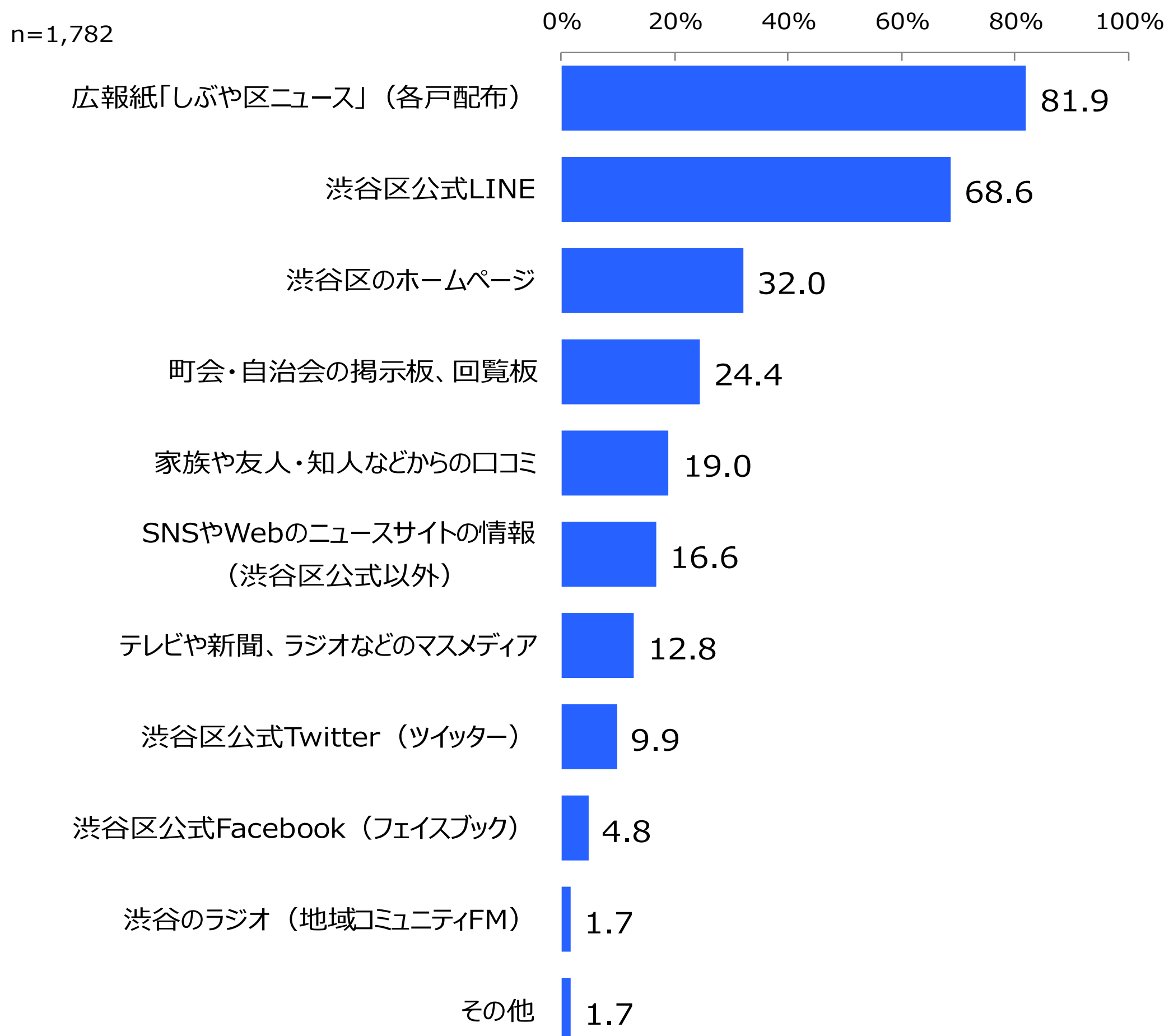
一方、「充実していない(計)」(「充実していない」+「どちらかといえば充実していない」)が高い施策は、「まちのバリアフリー化」60.2%(令和3年度59.1%)、「路上喫煙・タバコ対策」57.8%(令和3年度59.2%)などである。



(3) 区政情報入手経路

Q7.あなたは日頃、区政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(答はいくつでも)

「広報紙『しぶや区ニュース』（各戸配布）」が81.9%（令和3年度82.0%）で最も高い。以下、「渋谷区公式LINE」68.6%（令和3年度60.3%）、「渋谷区のホームページ」32.0%（令和3年度33.9%）、「町会・自治会の掲示板、回覧板」24.4%（令和3年度22.5%）、「家族や友人・知人などからの口コミ」19.0%（令和3年度20.0%）などが続く。

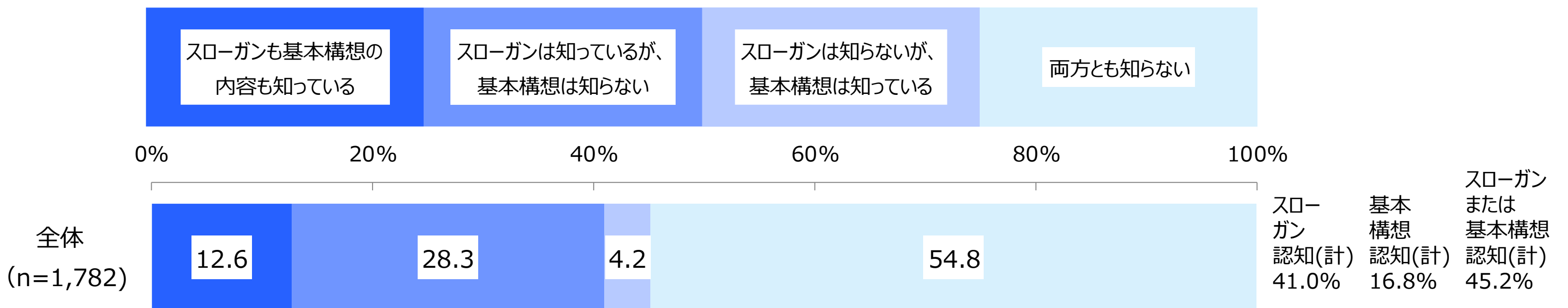


3. 渋谷区基本構想について

(1) 基本構想とスローガンの認知度

Q8.渋谷区では平成28年10月に渋谷区の未来像として、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」というスローガンを掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想またはスローガンをご存知ですか。※このアンケートに答える前の事についてお答えください。（答は1つ）

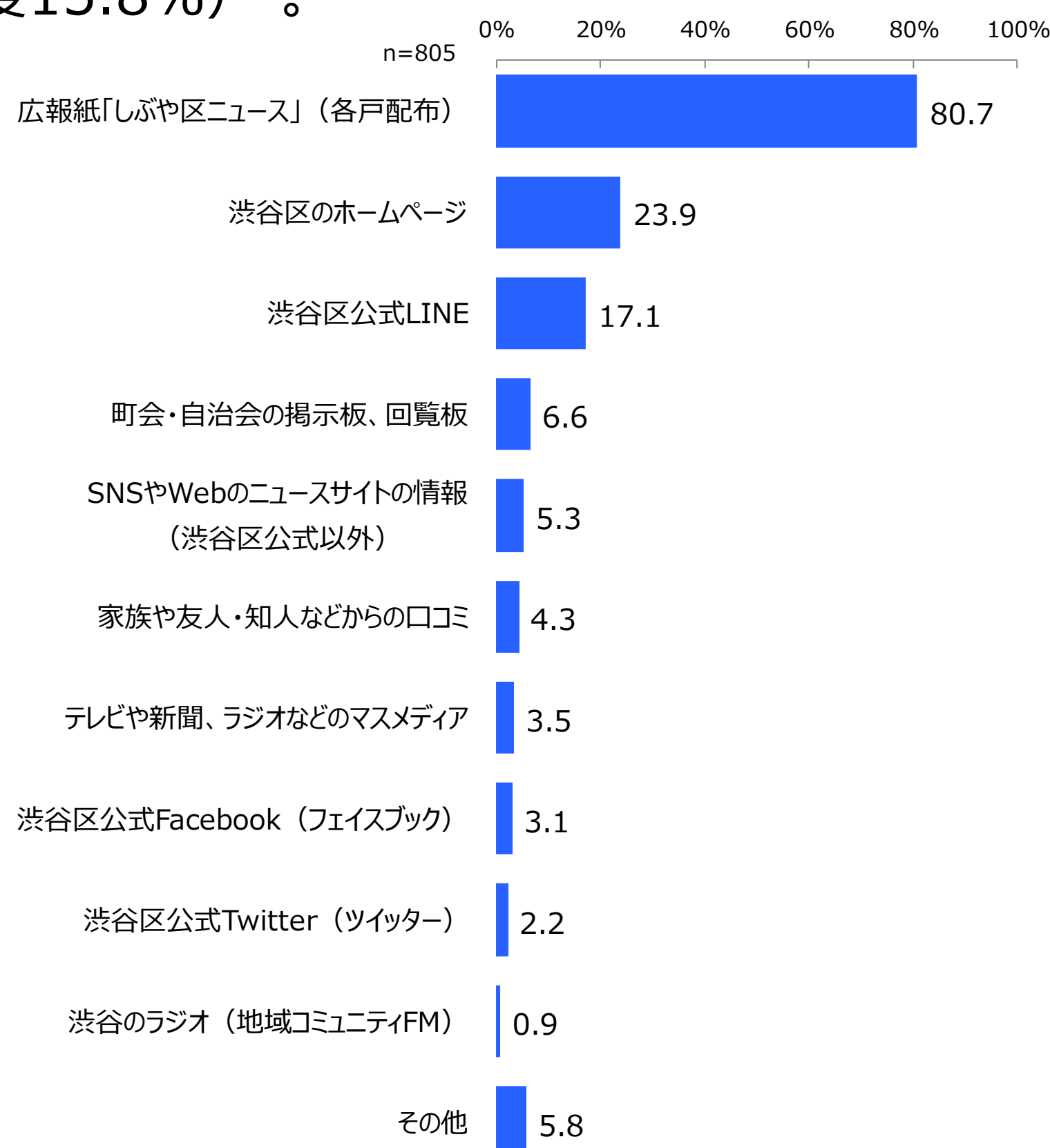
「両方とも知らない」が54.8%（令和3年度58.6%）最も高い。次いで、「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」28.3%（令和3年度25.6%）が高い。スローガンの認知率（「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」）は41.0%（令和3年度36.1%）、基本構想の認知率（「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知らないが、基本構想は知っている」）は16.8%（令和3年度15.8%）である。



(2) 基本構想とスローガンの認知経路

Q9.スローガンまたは基本構想を何からお知りになりましたか。（答はいくつでも）

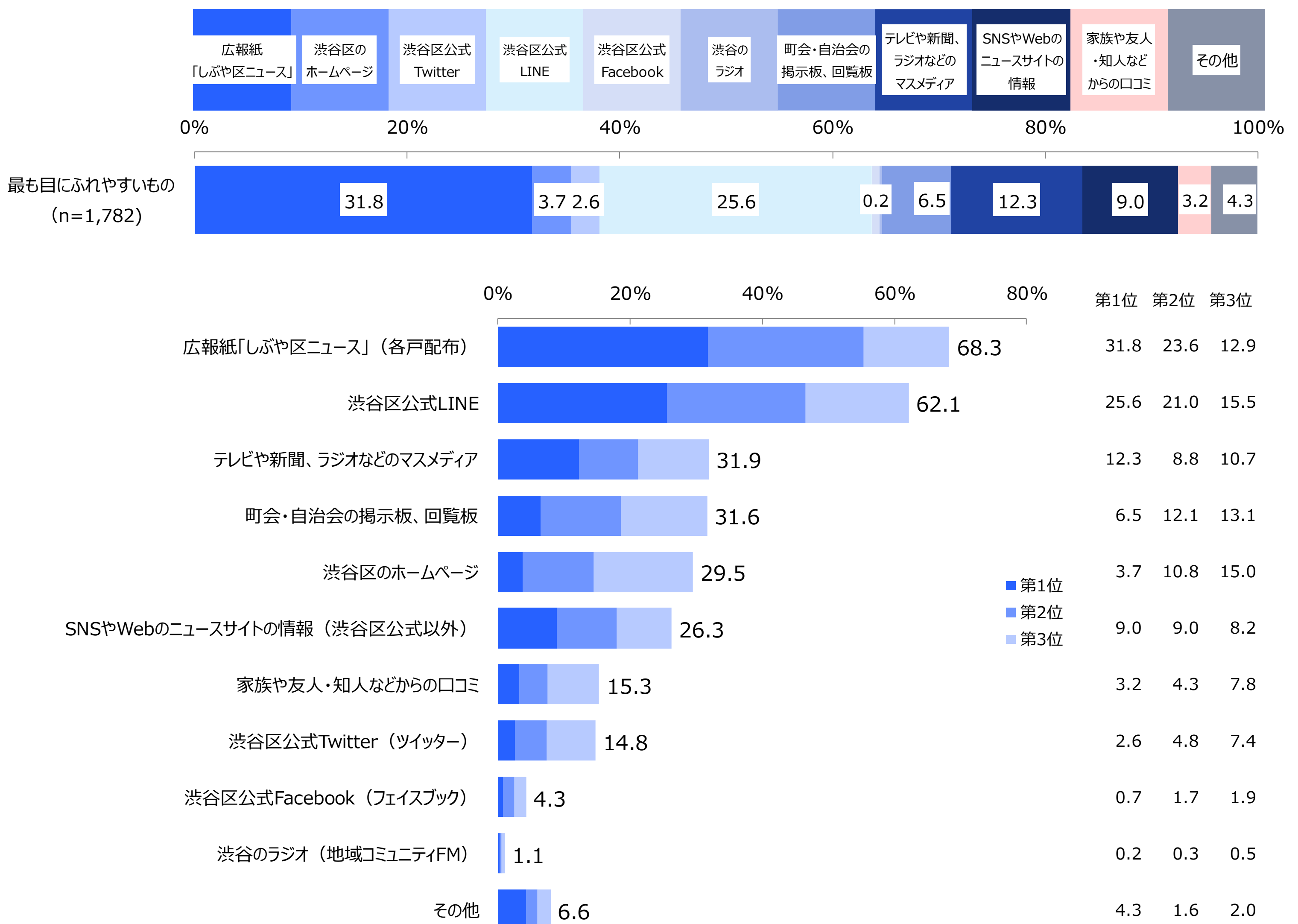
「広報紙『しゅばや区ニュース』（各戸配布）」が最も高く80.7%（令和3年度77.8%）。次いで、「渋谷区のホームページ」は23.9%（令和3年度26.5%）、「渋谷区公式LINE」は17.1%（令和3年度15.8%）。



(3) 基本構想とスローガンの広報手段

Q10.スローガン、基本構想がどのようなところで紹介されれば目にふれやすいと思いますか。最も目にふれやすいもの、次に目にふれやすいもの、三番目に目にふれやすいものを、それぞれ教えてください。
 (答はそれぞれ1つ) ※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

最も目にふれやすいものは「広報紙『しづや区ニュース』(各戸配布)」が31.8%(令和3年度30.1%)で最も高い。次いで、「渋谷区公式LINE」25.6%(令和3年度23.3%)、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」12.3%(令和3年度13.5%)、「SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)」9.0%(令和3年度9.9%)が高い。最も目にふれやすいものから三番目に目にふれやすいものまでを合わせると、「広報紙『しづや区ニュース』(各戸配布)」が68.3%(令和3年度67.4%)で最も高く、次いで、「渋谷区公式LINE」62.1%(令和3年度55.4%)、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」31.9%(令和3年度34.4%)、「町会・自治会の掲示板、回覧板」31.6%(令和3年度29.0%)、「渋谷区のホームページ」29.5%(令和3年度30.2%)、「SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)」26.3%(令和3年度28.3%)が続く。



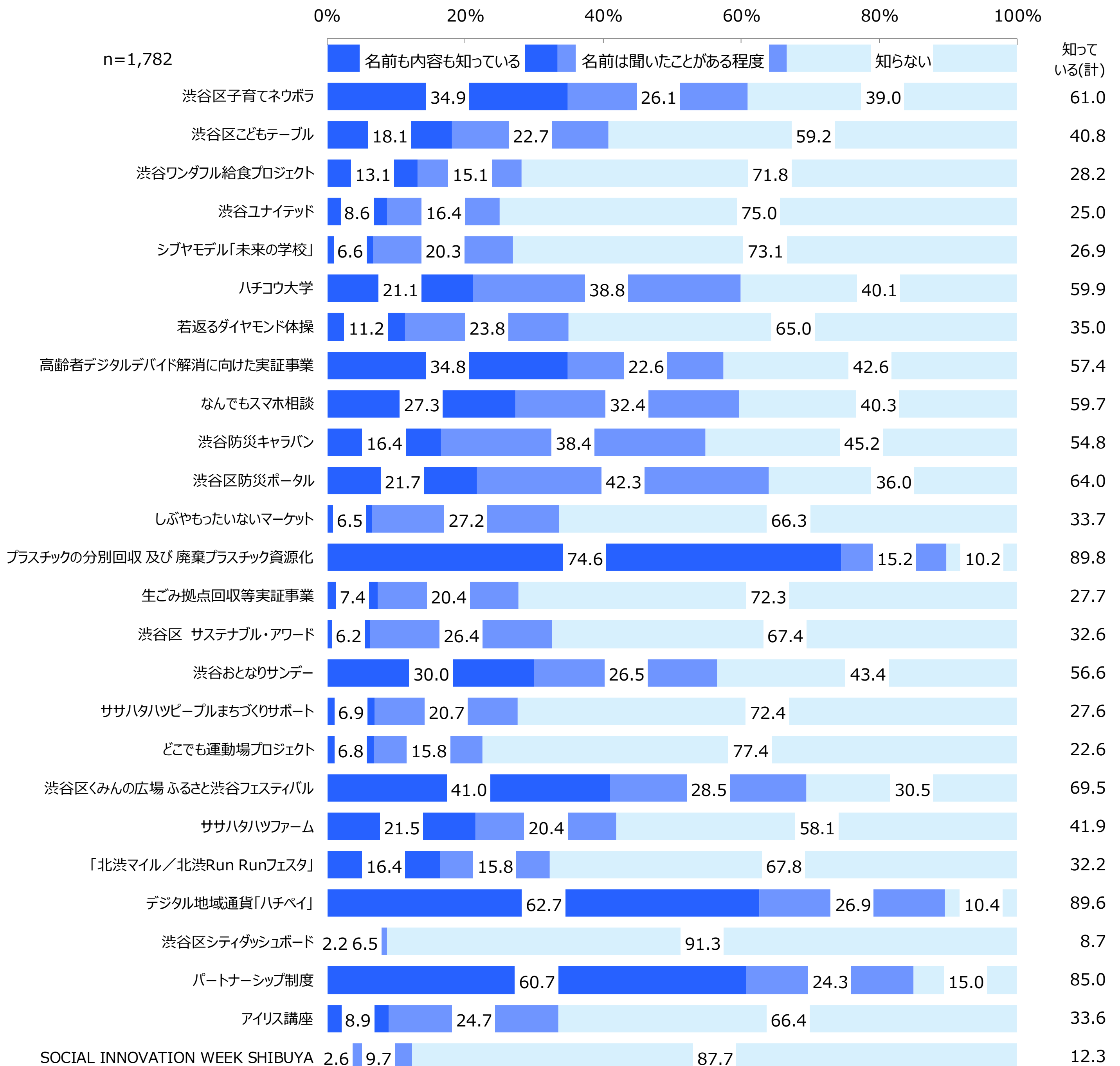
4.施策・活動の認知・利用経験について

(1) 区の施策・活動の認知

Q11.渋谷区が実施または支援を行っている（またはこれから行う予定）、以下のような施策や活動をご存知ですか。（答はそれぞれ1つ）

「知っている（計）」（「名前も内容も知っている」+「名前は聞いたことがある程度」）が高い施策は「プラスチックの分別回収 及び 廃棄プラスチック資源化」89.8%（令和3年度32.9%）、「デジタル地域通貨「ハチペイ」」89.6%（令和3年度無し）、「パートナーシップ制度」85.0%（令和3年度82.0%）、「渋谷区くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル」69.5%（令和3年度渋谷フェスティバルオンライン50.0%）、「渋谷区防災ポータル」64.0%（令和3年度67.4%）などである。

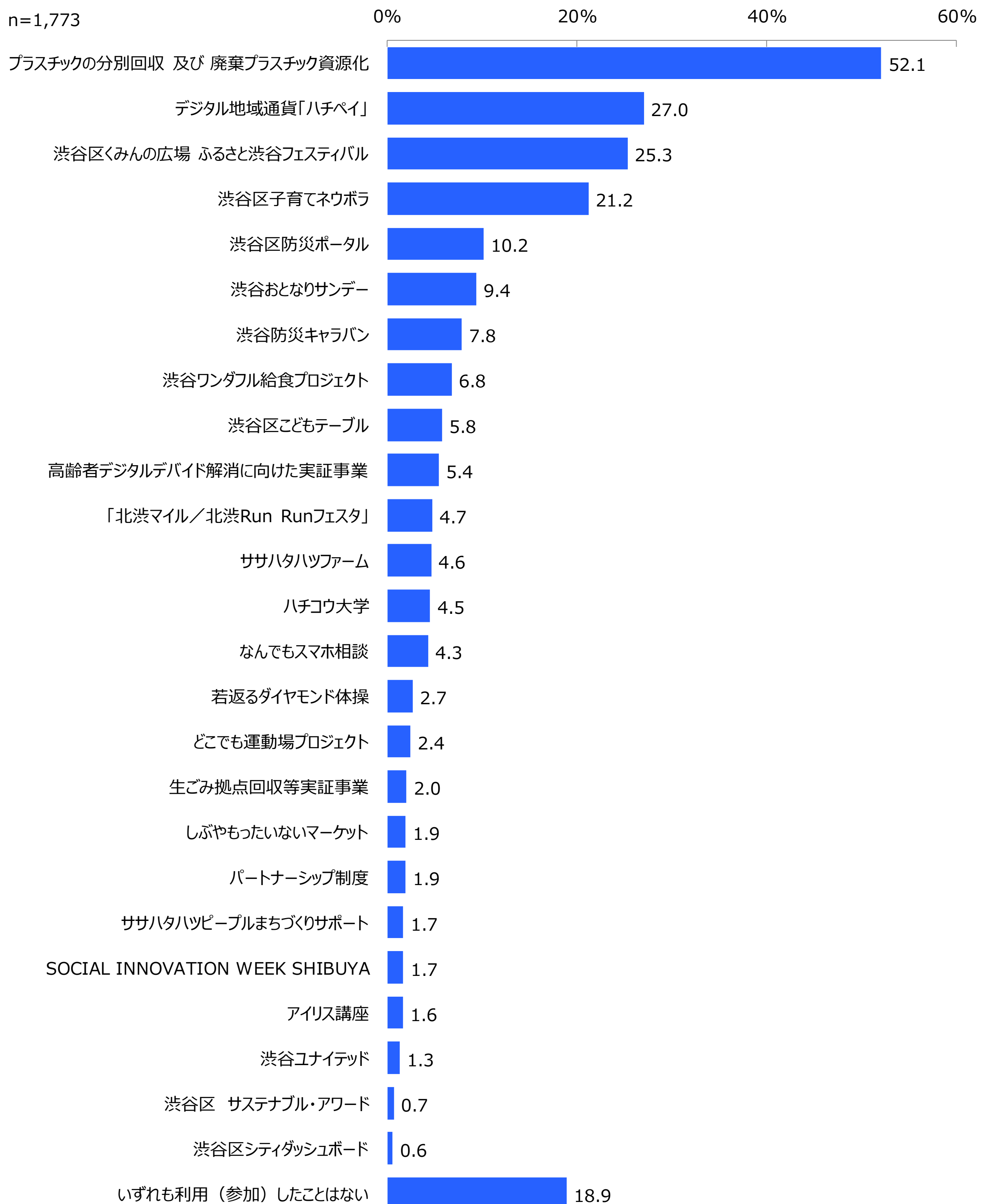
一方、「知らない」が高い施策は、「渋谷区シティダッシュボード」「SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA」「どこでも運動場プロジェクト」「渋谷ユナイテッド」などである。



(2) 区の施策・活動の利用

Q12. 渋谷区が実施または支援を行っている（またはこれから行う予定）、以下のような施策や活動について、利用したり参加したことはありますか。（答えはいくつでも）

利用したり参加したことが高い施策は「プラスチックの分別回収 及び 廃棄プラスチック資源化」が最も高く52.1%（令和3年度無し）。次いで「デジタル地域通貨「ハチペイ」」27.0%（令和3年度無し）、「渋谷区くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル」25.3%（令和3年度渋谷フェスティバルオンライン4.3%）、「渋谷区子育てネウボラ」21.2%（令和3年度14.6%）などである。「いずれも利用（参加）したことはない」は18.9%となっている。



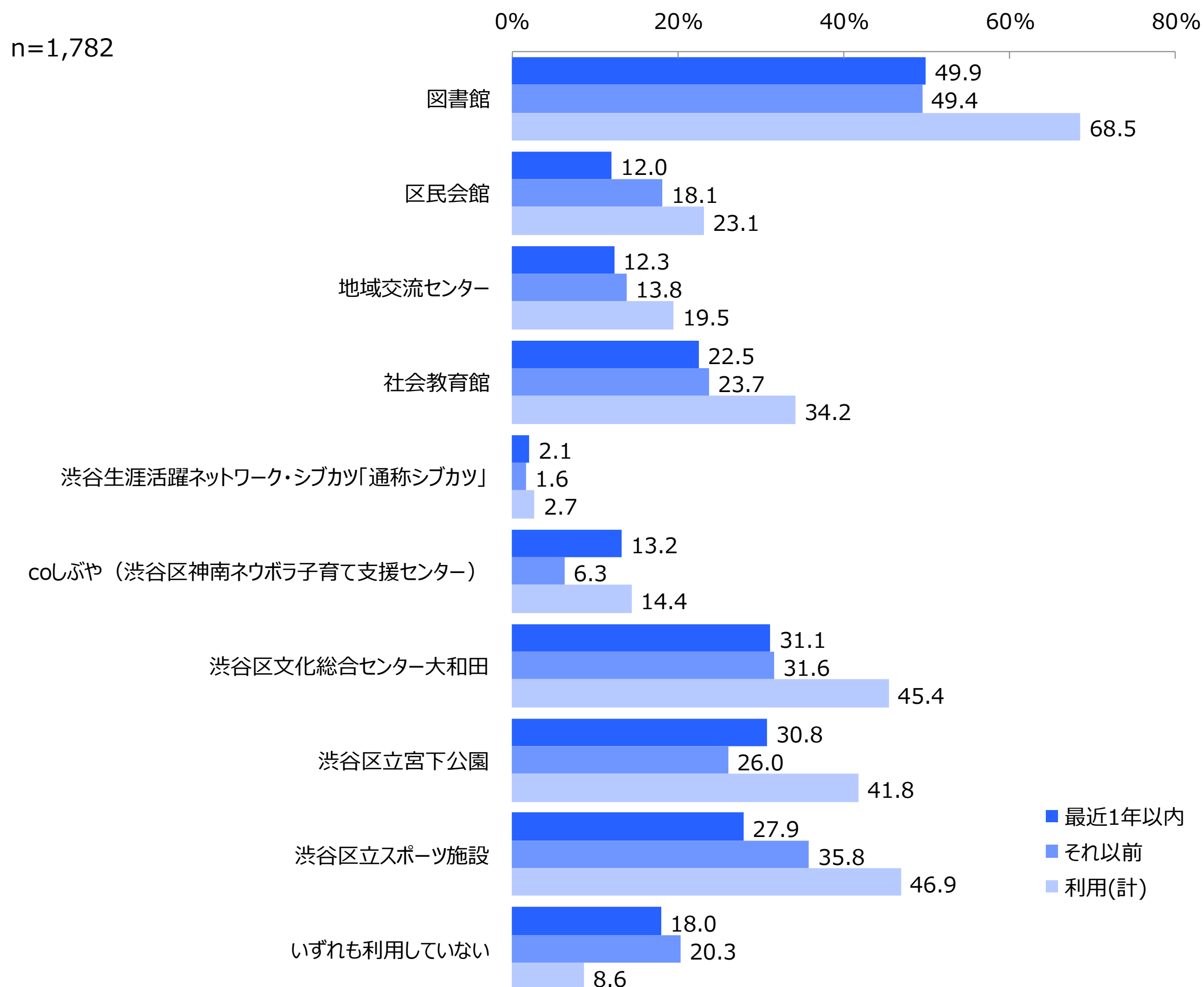
(3) 区の施設利用

Q13.あなたは、渋谷区にある以下の施設をご利用になったことはありますか。
 (答はそれぞれいくつでも)

最近1年以内に利用した施設は、「図書館」49.9%（令和3年度43.8%）、「渋谷区文化総合センター大和田」31.1%（令和3年度25.2%）「渋谷区立宮下公園」30.8%（令和3年度31.2%）、「渋谷区立スポーツ施設」27.9%（令和3年度25.2%）などが高くなっている。

これまでに利用したことのある施設は、「図書館」49.4%（令和3年度48.0%）、「渋谷区立スポーツ施設」35.8%（令和3年度37.2%）「渋谷区文化総合センター大和田」31.6%（令和3年度30.3%）などである。

最近1年以内もしくはこれまでに利用した施設は、「図書館」68.5%（令和3年度63.3%）、「渋谷区立スポーツ施設」46.9%（令和3年度46.2%）、「渋谷区文化総合センター大和田」45.4%（令和3年度41.0%）、「渋谷区立宮下公園」41.8%（令和3年度40.4%）となっている。



※ 利用(計) は最近1年以内も含めたこれまでの利用

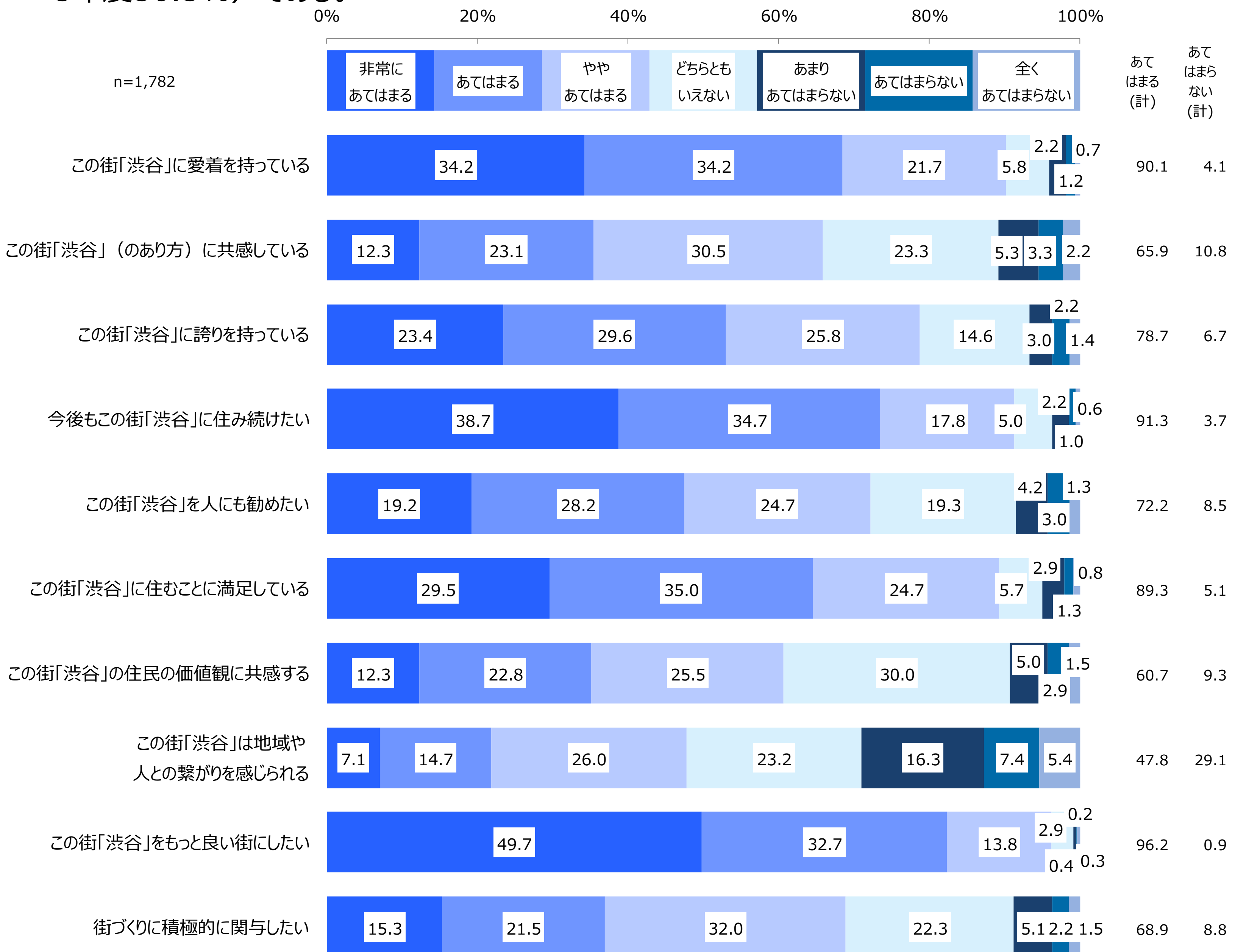
5.シビックプライド*・街のイメージについて

(1) 渋谷に対する意識

Q14.あなたが住んでいる街『渋谷』についてお伺いします。以下のそれぞれの項目は、どの程度あてはまりますか。(答はそれぞれ1つ)

「あてはまる(計)」(「非常にあてはまる」+「あてはまる」+「ややあてはまる」)は、「この街『渋谷』に愛着を持っている」90.1%(令和3年度89.0%)、「この街『渋谷』(のあり方)に共感している」65.9%(令和3年度62.8%)、「この街『渋谷』に誇りを持っている」78.7%(令和3年度77.4%)となっている。

一方、「あてはまらない(計)」(「全くあてはまらない」+「あてはまらない」+「あまりあてはまらない」)が高い項目は、「この街『渋谷』は地域や人との繋がりを感じられる」29.1%(令和3年度30.5%)である。



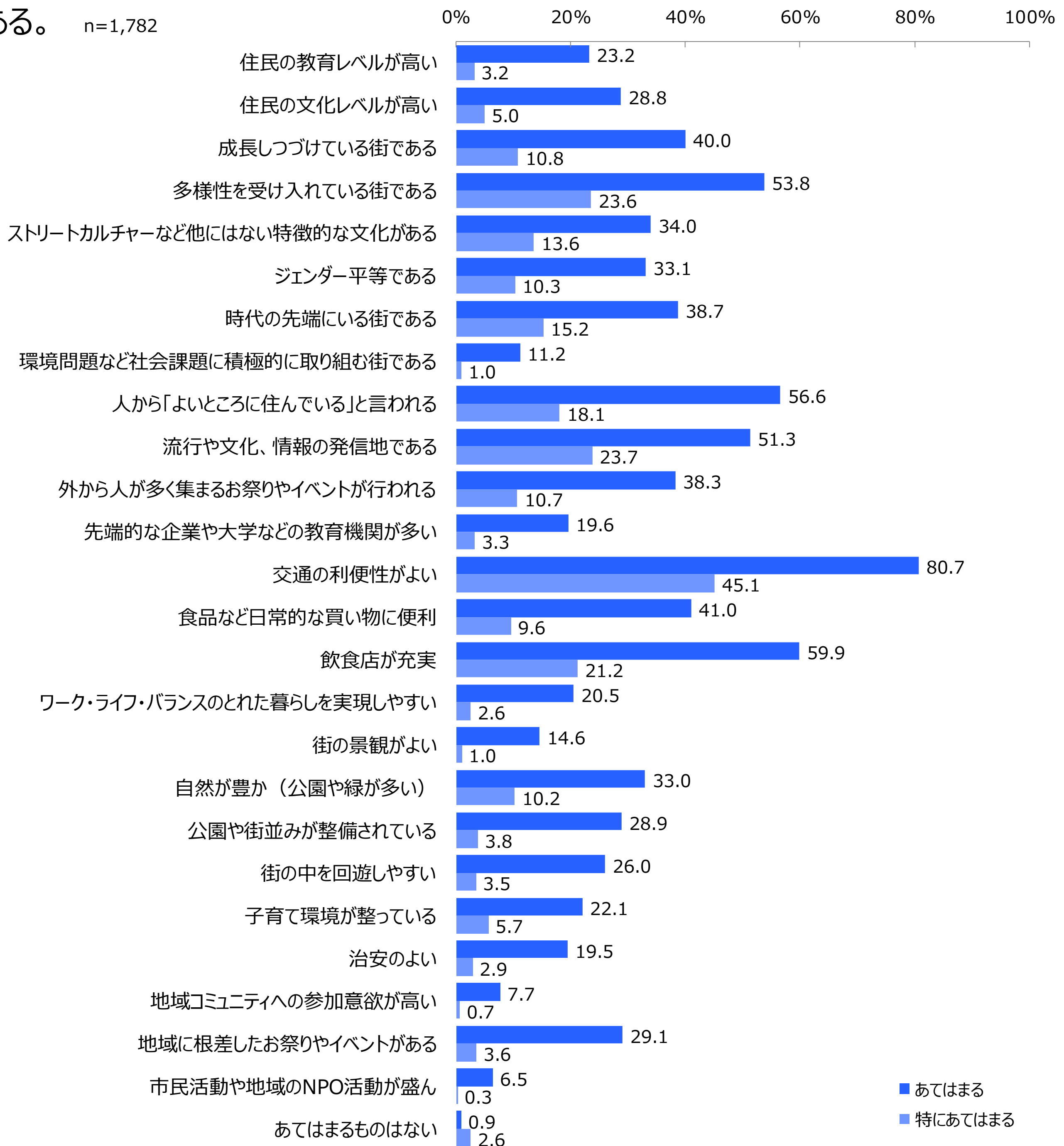
*シビックプライドとは、その都市に対する誇りや愛着のことで、「都市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」という当事者意識に基づく自負心のこと。

(2) 渋谷のイメージ

Q15.あなたが住んでいる街「渋谷」に対して、あなたが持っているイメージとしてあてはまるものを教えてください。(答はいくつでも) また、その中であなたが特に「渋谷らしい」と思う特徴をお知らせください。(最大3つまで)

あてはまるイメージとして高いのは、「交通の利便性がよい」80.7%（令和3年度79.0%）、「飲食店が充実」59.9%（令和3年度59.6%）、「人から「よいところに住んでいる」と言われる」56.6%（令和3年度55.3%）、「多様性を受け入れている街である」53.8%（令和3年度53.3%）、「流行や文化、情報の発信地である」51.3%（令和3年度51.0%）など。

特にあてはまるイメージとしては、「交通の利便性がよい」45.1%（令和3年度41.2%）、「流行や文化、情報の発信地である」23.7%（令和3年度24.9%）、「多様性を受け入れている街である」23.6%（令和3年度22.9%）、「飲食店が充実」21.2%（令和3年度20.0%）、「人から「よいところに住んでいる」と言われる」18.1%（令和3年度16.0%）などである。 n=1,782

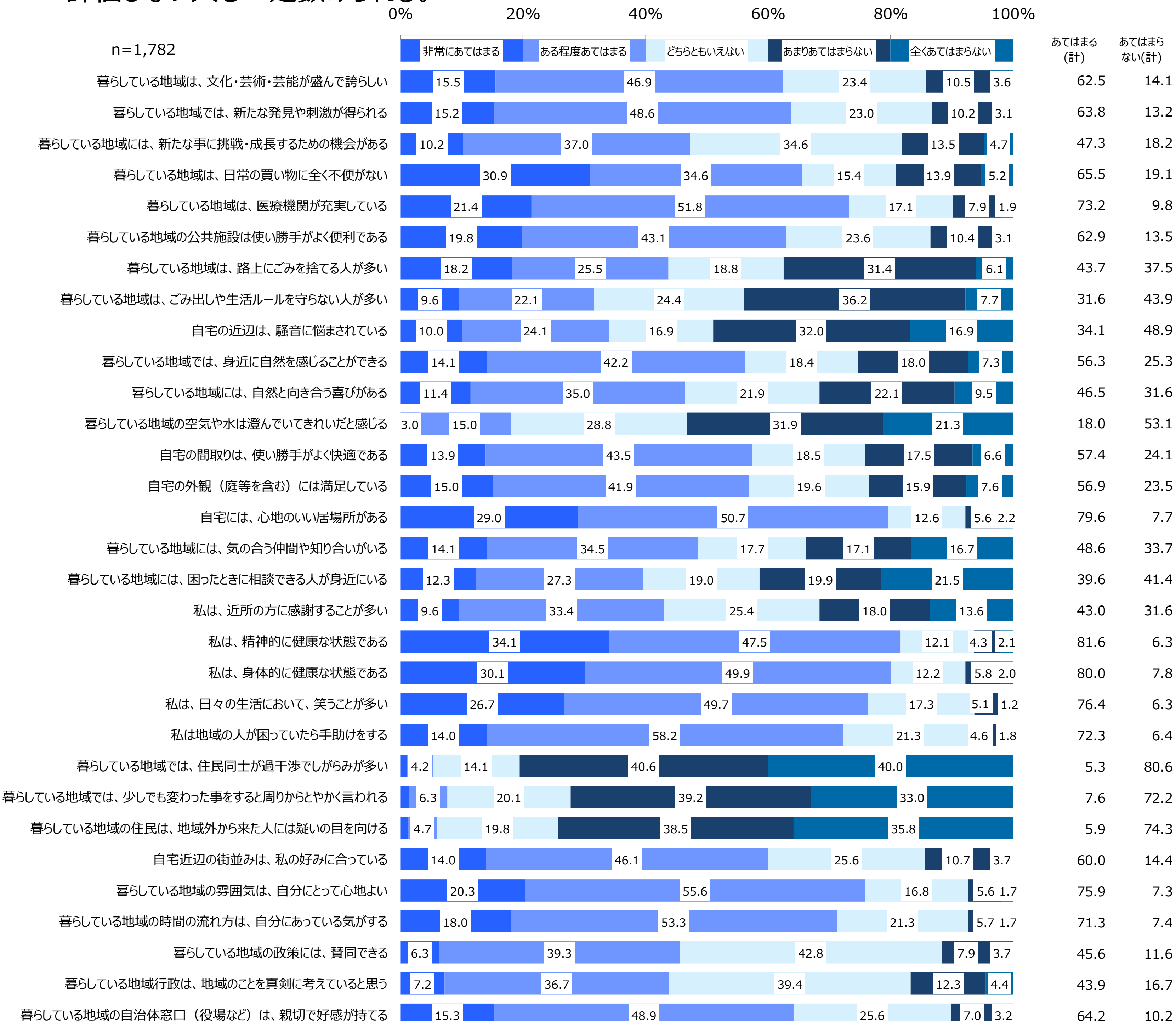


6.暮らしについて

(1) 日々の暮らしで感じること

Q16.「渋谷区」という地域で日々暮らすなかで、地域に対することやあなた自身のことについて、普段どのようなことを感じられていますか。それぞれの項目について、どの程度あてはまるかお知らせください。（答はそれぞれ1つ）

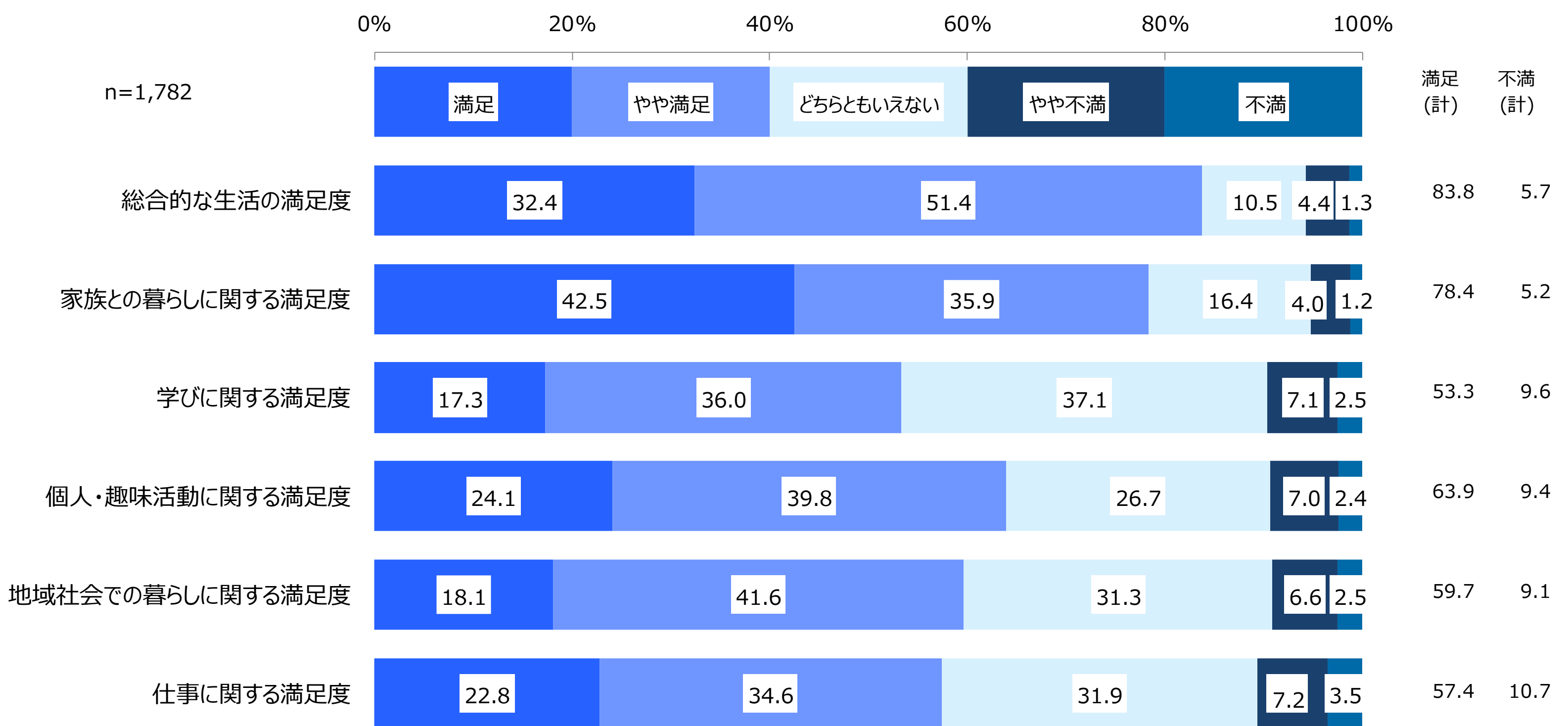
暮らしている地域について、「暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」が75.9%（あてはまる計）と高く、地域との相性の高さがみられる。一方、「暮らしている地域は、路上にごみを捨てる人が多い」は43.7%（あてはまる計）で生活ルールの秩序に関してはあまり評価しない人も一定数みられる。



(2) 生活満足度

Q17.現在のあなたの生活満足度について、以下の各項目ごとに教えてください。
(答はそれぞれ1つ)

総合的な生活の満足度は、「満足(計)」(「満足」+「やや満足」)で83.8%となっている。以下「家族との暮らしに関する満足度」(78.4%)、「個人・趣味活動に関する満足度」(63.9%)などとなっている。

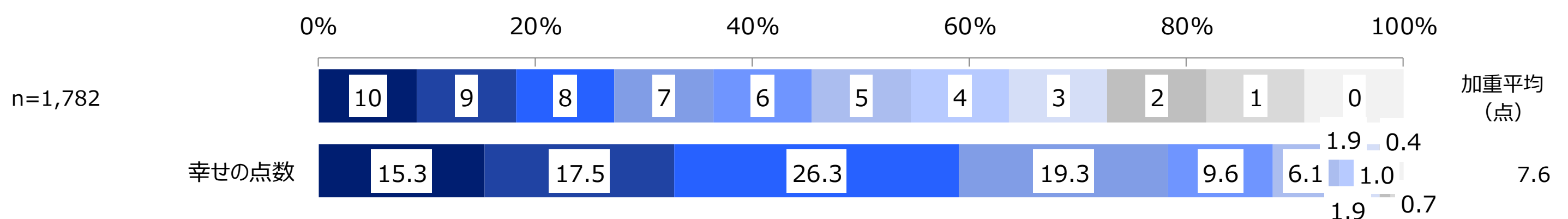


※「仕事に関する満足度」は、現在お仕事をされていない方は選択肢3「どちらともいえない」を選択

(3) 幸せ度

Q18.現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

幸せ度は、「8点」(26.3%)が最も高く、次いで「7点」(19.3%)、「9点」(17.5%)、「10点」(15.3%)などとなっている。平均は7.6点。



令和4年度 渋谷区 区民意識調査 報告書（概要版）

発行：渋谷区 デジタルサービス部 広報コミュニケーション課
〒150-8010 東京都渋谷区宇田川町1-1
電話：03-3463-1211 FAX：03-5458-4920

調査企画：株式会社 読売広告社
〒107-6105 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル
電話：03-3589-8111 (代表)

調査実施機関：楽天インサイト 株式会社
〒150-8010 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリームゾンハウス
電話：050-5817-3301 (代表)